

2019年度（令和元年度）～2025年度（令和7年度）の出題傾向

問題番号	2019年度（令和元年度）	2021年度（令和3年度）	2022年度（令和4年度）	2023年度（令和5年度）	2024年度（令和6年度）	2025年度（令和7年度）
79	地盤の地震応答解析	地すべりの安定解析	地震応答解析	地すべりの安定解析	地すべり安定解析に必要な物性値、条件	地震応答解析に必要な地盤の物性値
80	浸透流解析	有限要素法	浸透流解析	有限要素法	浸透流解析	浸透流解析
81	杭基礎（場所打ち杭）	圧密沈下	杭基礎（場所打ち杭）	圧密沈下時間を計算する上で必要な物性値および条件	杭基礎	圧密沈下
82	直接基礎設計の検討	液状化対策工法とその代表的工法	液状化の程度に影響を及ぼす要因	液状化対策工法における密度増大工法	地表地質調査	路面下における空洞発生 の直接の原因
83	盛土の維持管理における平常時の点検	道路防災カルテにおける点検対象項目	構造物の維持管理のための調査において整理すべき情報	直接基礎の特長と名称	軟弱地盤上における盛土の設計に必要な試験項目	盛土工事における圧密沈下の主な原因となる地盤特性
84	切土による崩壊発生について注意すべき項目	土留め開削工法の設計施工例	土留め壁を設置する開削工事におけるボーリング対策	高盛土を施工する上で検討が必要な項目	土留め掘削工事における補助工法とその目的	軟弱地盤の二次圧密による沈下の対策工法
85	軟弱地盤上における盛土の設計に必要な試験項目	アスファルト舗装の検討で実施した試験	地盤の支持力を検討する場合の土質試験	圧密試験結果の利用	軟弱地盤上における盛土の検討に用いる試験項目	地盤の耐震設計を検討する場合に必要な室内試験
86	土の種類と締固め特性	粘性土地盤上の直接基礎を検討する場合の試験項目	プレロード工法の設計に必要な試験	三軸圧縮試験結果の工学的利用	土の圧密試験結果を沈下解析へ利用する方法	地質調査結果（シルト層）から応力算出
87	地質調査結果から読み取る設計上の留意点	地質調査結果から読み取る盛土管理上の留意点	締固め管理	土質試験結果の解釈	地質調査結果から読み取る設計上の留意点	アスファルト舗装の検討で実施した試験
88	物理探査（弾性波トモグラフィ）の逆解析	物理探査におけるデータ処理解析時に留意すべき事項	ハギトリ法（萩原の方法）の解析結果	孔間弾性波トモグラフィの解析結果	ハギトリ法（萩原の方法）の解析結果	地すべりを対象とした物理探査の調査計画
89	空洞調査における物理探査手法の適用	地すべり面形状の把握を目的に実施した物理探査結果の解釈における留意事項	トンネルにおける発破計画	堤防点検に適用する物理探査手法および判定内容	堤防点検に適用する物理探査手法および判定内容	空洞調査を目的とした物理探査手法
90	熱赤外線映像調査結果から推定される法面背面状態の評価判定と調査結果	物理探査で得られる地盤の物性値	地すべりを対象とした物理探査の調査計画	地盤の物性値	地すべり調査における物理探査結果の解釈	地盤の物性値

※2020年度（令和2年度）試験は中止